

# 「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針 改訂版



平成30年3月  
飯能市教育委員会

# 目 次

|   |                             |         |
|---|-----------------------------|---------|
| 1 | 「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針の目的      | 1       |
| 2 | 上位計画におけるホッケーの位置付け           | 1       |
|   | (1) 第5次飯能市総合振興計画前期基本計画      | 1       |
|   | (2) 第2期飯能市教育振興基本計画          | 2       |
| 3 | 取組状況（平成25年度～平成29年度）         | 2       |
|   | 基本方針1 ホッケーのまちづくりの推進に係る体制の整備 | 2       |
|   | 基本方針2 普及事業と競技環境の整備          | 3, 4, 5 |
|   | 基本方針3 教員の確保と指導者の養成          | 5       |
|   | 基本方針4 ホッケー競技のPR活動           | 5       |
|   | 基本方針5 全国大会等の誘致と大会開催への支援     | 6       |
|   | 《参考》大会開催における各種大会 消費額（概算）    | 6       |
| 4 | 現状と課題                       | 7       |
| 5 | 「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標       | 8       |
| 6 | 「ホッケーのまちづくり」の基本方針           | 8       |
| 7 | キャッチフレーズ                    | 8       |



美杉台中学校女子ホッケー部



美杉台中学校男子ホッケー部

## 1 「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針の目的

飯能市のホッケー競技は、過去2回の国民体育大会の競技会場となったことを契機として、広く市民に認知されてきました。現在は、市内の競技団体を中心として、小学生から社会人に至る各年代のホッケーチームが盛んに活動をしているところから、本市では「ホッケーのまち飯能」のスローガンを掲げ、市内小・中学校での巡回ホッケー教室を開催するとともに、市民に対してホッケーのPR活動を進めています。

このような状況の中、今後も本市の市民スポーツであるホッケー競技をさらに盛んにし、「ホッケーのまち飯能」を全国に発信することにより、郷土飯能を愛する人づくりと地域の活性化を図るため、「ホッケーのまちづくり」基本方針（以下「基本方針」という。）を策定するものです。

なお、この基本方針に係る具体的な取組み（推進計画）については、別に定めるものとします。

## 2 上位計画におけるホッケーの位置付け

### （1）第5次飯能市総合振興計画前期基本計画（平成28年度～32年度）

第5次飯能市総合振興計画前期基本計画 第2章 子どもの夢、未来をつなぎ市民の豊かな生涯を支援するまち、（3）豊かな生涯を築く生涯学習・スポーツの推進、④健やかなスポーツ・レクリエーションの推進において、次のように基本施策を定めています。

#### 基本施策

#### 3 競技スポーツの振興

- ①「ホッケーのまち」として競技団体と連携し、競技の普及に努めます。



ALDER 飯能



HFC-HANNO

## (2) 第2期飯能市教育振興基本計画（平成28年度～32年度）

飯能市教育振興基本計画 基本方針Ⅴ スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組めます。1健康で元気に暮らすための事業の充実において、次のように具体的な取組みを定めています。

### 具体的な取組

#### (3) スポーツ環境の整備・充実

##### ③ホッケーのまち飯能の推進

- ・ホッケーが市民スポーツとして更に盛んになるよう、普及事業やPR活動を実施し、「ホッケーのまちづくり」を推進します。
- ・ホッケー競技の底辺を拡大するため、巡回ホッケー教室の充実やスポーツ少年団活動の充実を図るとともに、中学校における部活動の設置等について関係者と協議を進めます。
- ・ホッケーの知識、技術を有する指導者を確保、養成をするとともに、関係団体と連携をし、より高いレベルを目指す選手を指導できる指導者の養成・確保を図ります。
- ・日本リーグや全国レベルの大会など、一流選手のプレーが観られるよう、観戦機会の充実を図ります。
- ・全国大会などに出場のチームや選手への支援をします。

## 3 取組状況（平成25年度～平成29年度）

「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するために行った5つの基本方針ごとの主な取組み状況を示します。

### 基本方針1 ホッケーのまちづくりの推進に係る体制の整備

#### ◎具体的な取組

##### ①推進体制の整備

- ◆ホッケー専門指導員（非常勤職員）を継続して任用し、小・中学校における普及事業を進めました。

| 年 度  | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|------|----|----|----|----|----|
| 指導員数 | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |



聖望高校ホッケー部



飯能南高校男子ホッケー部



飯能高校女子ホッケー部

## 基本方針2 普及事業と競技環境の整備

### ◎具体的な取組

#### ①小・中学生及び市民を対象とした普及事業の推進

- ◆小学校においては児童 1,853 人、中学校においては生徒 4,345 人の参加がありました。特に中学校1年生においては、**体育科の必修化**により、市内公立中学校の**全生徒がホッケー競技を経験**することとなり、この効果として、クラブチーム（飯能 Jr.ホッケークラブ）が立ち上がっています。

#### 【小学校の状況】

| 実施年度   | 実施学校数    | 実施回数 | 参加人数  |     |       |
|--------|----------|------|-------|-----|-------|
|        |          |      | 男     | 女   | 計     |
| 25     | 12       | 83   | 234   | 135 | 369   |
| 26     | 12       | 87   | 202   | 136 | 338   |
| 27     | 12       | 107  | 214   | 138 | 352   |
| 28     | 14(全小学校) | 113  | 241   | 149 | 390   |
| 29     | 14(全小学校) | 106  | 235   | 169 | 404   |
| 合計     | 64       | 496  | 1,126 | 727 | 1,853 |
| 24(参考) | 7        | 51   | 105   | 54  | 159   |

#### 【中学校の状況】

| 実施年度   | 実施学校数 | 実施回数 | 参加人数  |       |       |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|
|        |       |      | 男     | 女     | 計     |
| 25     | 8     | 113  | 376   | 288   | 664   |
| 26     | 8     | 168  | 446   | 391   | 837   |
| 27     | 8     | 150  | 441   | 440   | 881   |
| 28     | 8     | 168  | 496   | 480   | 976   |
| 29     | 8     | 204  | 501   | 486   | 987   |
| 合計     | 40    | 803  | 2,260 | 2,085 | 4,345 |
| 24(参考) | 1     | 19   | 46    | 22    | 68    |

※24年度はホッケー競技の必修化前の状況

【クラブチームの状況（平成29年度）】

| 学校名（中学校名）             | クラブ名              | 学年             | 実施回数        | 参加人数（人） |   |    |
|-----------------------|-------------------|----------------|-------------|---------|---|----|
|                       |                   |                |             | 男       | 女 | 計  |
| 飯能第一、吾野、原市場<br>飯能西、加治 | 飯能ジュニア<br>ホッケークラブ | 3年<br>2年<br>1年 | 200<br>(年間) | 24      | 9 | 33 |

◆ホッケー専門指導員により、年間を通して広く普及を進めていくため、市内大学からの指導者派遣により、幅広く普及事業を行いました。

| 年 度           | 25         | 26   | 27   | 28   | 29          |
|---------------|------------|------|------|------|-------------|
| 派 遣<br>指導員数   | 62         | 56   | 66   | 64   | 164         |
| 派遣先<br>(中学校名) | 飯能第一<br>吾野 | 飯能第一 | 飯能第一 | 飯能第一 | 飯能第一<br>飯能西 |

◆競技団体（飯能ホッケー連盟）により、市民を対象としたホッケー教室を開催し、競技の普及を進めました。

| 年 度  | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|------|----|----|----|----|----|
| 回 数  | 3  | 6  | 3  | 2  |    |
| 参加人数 | 39 | 78 | 75 | 98 |    |

②競技環境の整備

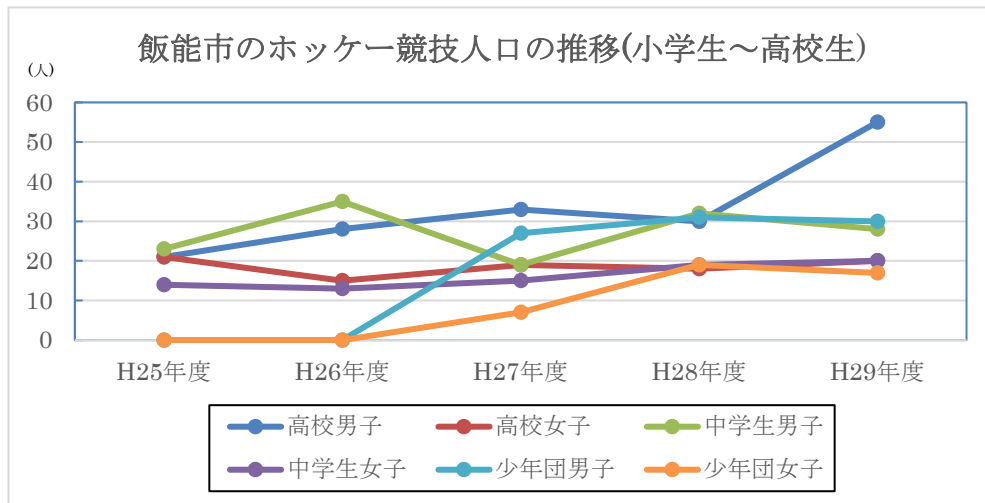
◆小学生が、競技スポーツとしてホッケーに取り組めるよう、スポーツ少年団の立ち上げについて支援を行い、平成27年度にホッケー競技単独による「はんのうホッケースポーツ少年団」が設立しました。

◆阿須ホッケー場の老朽化に対応するため、阿須ホッケー場の施設修繕・新規備品購入を行いました。

| 年 度 | 内 容   |
|-----|---|
| 26  | ・ナイター照明修繕 ・電気室扉修繕                                   |
| 27  | ・散水用ポンプ2号機他修繕 ・ナイター照明修繕<br>・得点板 ・スティックスタンド ・コーナーポール |
| 28  | ・管理棟トイレドア修繕 ・散水用ポンプ1号機修繕<br>・ゴール購入 ・防球ネット           |

### ③競技力向上への支援

- ・競技団体と連携した普及事業や強化事業の実施により、小学生と中学生において、競技人口が増加しました。



### 基本方針3 教員の確保と指導者の養成

#### ◆具体的な取組

##### ①教員の確保

- ・市内の小学校から高等学校において、ホッケーの専門指導ができる教員の確保に努めました。

| 年度          | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|-------------|----|----|----|----|----|
| 専門指導<br>教員数 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  |

### 基本方針4 ホッケー競技のPR活動

#### ◆具体的な取組

##### ①ホームページを活用したPR

- ・市のホームページを活用して、競技の紹介や各年代のホッケーチームの活動状況を発信しました。

##### ②阿須ホッケー場におけるPR

- ・拠点施設である阿須ホッケー場入口付近に掲示板を設け、競技団体と連携し、競技の紹介や大会予告及び結果などを随時掲示しました。

##### ③市民活動センターにおけるPR

- ・丸広百貨店飯能店7階の飯能市市民活動センターに設けたホッケーコーナーを活用し、競技の紹介や大会結果などの情報発信を行いました。

## 基本方針5 全国大会等の誘致と大会開催への支援

### ◆具体的な取組

#### ①全国大会等の誘致

- ・本市のホッケー競技のさらなる普及拡大と競技力向上とともに、地域の活性化を図るため、全国大会等の誘致を進めました。

#### 《既存大会の継続》

- ・関東中学生新人ホッケー大会

#### 《各種大会等》

- ・日本リーグ
- ・平成 25 年度：第 87 回 全日本男子ホッケー選手権大会
- ・平成 27 年度：第 70 回 国民体育大会関東ブロック大会
- ・平成 28 年度：第 38 回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

#### ②大会開催への支援

- ・全国大会等の開催にあたり、財政的な支援を行うとともに、準備や運営面においても必要な人的支援を行いました。

### 《参考》

#### ◆大会開催における消費額【概算】

| 大会名                    | 消費額【概算】 |
|------------------------|---------|
| 関東中学生新人ホッケー大会（5年分）     | 2,856万円 |
| 日本リーグ（3年分）             | 3,503万円 |
| 第87回 全日本男子ホッケー選手権大会    | 1,625万円 |
| 第70回 国民体育大会関東ブロック大会    | 2,245万円 |
| 第38回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 | 6,422万円 |



飯能ジュニアホッケークラブ(女子)



飯能ジュニアホッケークラブ(男子)

## 4 現状と課題

本市では、これまでホッケー競技の底辺を拡大するため、ホッケーの専門指導員（一般非常勤職員）を配置し、市内小・中学校でのクラブ活動や授業を通じてホッケー競技を指導し、ホッケーの楽しさ・すばらしさを体験してもらうなど、ホッケーの普及推進に継続的に取り組んでいます。

市内の中学校では、平成25年度から体育の必修授業として行っております。また、競技団体におきましては、市内小学校や阿須ホッケー場を会場にホッケー教室を開催するなど競技の普及活動に積極的に取り組んでいます。

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会などの全国大会の会場誘致や日本リーグ、関東中学生新人ホッケー選手権大会など飯能市を会場として開催し、「ホッケーのまち飯能」を全国に発信するとともに、多くの市民にホッケーを知る・観てもらう機会を創ってきました。

そのことから、小学生から社会人に至る各年代でのホッケーチームが盛んに活動し、ホッケー競技を身近に感じ、本市が「ホッケーのまち飯能」であることが広く市民に認知されてきています。

しかし、少子化による子どもの減少やホッケー施設の老朽化による修繕、知識・経験をもった指導者の育成をする体制など様々な課題も見えてきています。今後も更なるホッケーの普及推進を図っていくためには、競技団体や学校関係者との連携を強化するとともに、ホッケー競技の魅力アップ活動やPR活動、競技人口の増加、そして安全・安心して競技ができる施設整備などを行っていくことが必要になっていきます。



駿河台大学女子ホッケー部



駿河台大学男子ホッケー部



飯能ホッケークラブ



あがのスポーツ少年団

## 5 「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標

本市のホッケー競技の現状と課題を踏まえ、「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を次のとおり定めます。

### 【理念】

～ 市民スポーツであるホッケーの普及振興により、  
郷土愛を育み、将来の飯能を担う人づくりを進めます ～

### 【基本目標】

- (1) ホッケー競技を通して、全国から多くの選手、役員などの関係者を迎え、交流を盛んにすることで地域の活性化を図ります。
- (2) 小学生から社会人までの各年代のホッケーチームが全国大会で活躍することにより、飯能を全国に発信します。
- (3) ホッケー競技を「観る」「する」「支える」ことで多くの市民が係わり、市民総ぐるみでホッケーのまちづくりを推進します。

## 6 「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針

「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、次のとおり基本方針を定め、取組を推進します。

- 基本方針1 競技団体や学校関係者等との連携強化
- 基本方針2 普及事業の推進及び競技力向上への支援
- 基本方針3 ホッケー競技のPR活動
- 基本方針4 全国大会等の誘致と大会開催への支援
- 基本方針5 安心安全な施設整備の研究

## 7 キャッチフレーズ

「ホッケーのまちづくり」を推進していくためには、より多くの市民にこの取組を知っていただく必要があります。

そのため、これまでホッケーの普及事業やPR事業などで使用してきた「ホッケーのまち飯能」を本基本方針のキャッチフレーズとし、方針に定める具体的な取組を進めていくこととします。

### 【キャッチフレーズ】

～ **ホッケーのまち飯能** ～

「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針 改訂版  
平成 30 年 3 月 策定

発行 飯能市教育委員会

編集 飯能市教育委員会

生涯学習スポーツ部スポーツ課

〒357-8501 飯能市大字双柳 1 番地の 1

## ホッケーのまち飯能



飯能市イメージキャラクター「夢馬(むーま)」